

まとめ

タイトル未定

清水 豪士

**Department of Information Systems Engineering,
Graduate School of Engineering
u155016@st.pu-toyama.ac.jp**

**12:10-12:35 Friday, December 10, 2021,
Toyama Prefectural University.**

まとめ

近況

- 競馬を用いたポートフォリオの研究からテーマを変える
- 滝沢がやっていた教学 IR を用いた研究を引き継いで、それを発展させる研究に変更した。

教学 IR

- IR(Institutional Research) とは本来、教育、経営、財務情報を含む大学内部のさまざまなデータの入手や分析と管理、戦略計画の策定、大学の教育プログラムのレビューと点検など包括的な内容を意味
- 大学などの導入事例もあり、学事データや学生の学修活動、大学の教育活動、入試、キャリア等に係る根拠データを組織的に収集・分析、可視化し、計画立案や意思決定に資するデータとして活用されている。

まとめ

滝沢の研究

- 過去の卒業生の教学データに対して分析を行い、成績評価の予測を行い、高い GPA を獲得できるように取得単位を推薦するとともに、全ての科目について良い成績がとれるように Web 上から関連情報を推薦するようなシステムの開発。

挙げられていた課題

- 授業計画のまとめを考慮した教材の作成
- HTML の表示の仕方の改善
- サンプル数が足りない

まとめ

現在

- 滝沢が作成したプログラムを解読している (flask や DB について)
- flask は web アプリケーション作成のツールなため、そこで必要となる HTML の知識の勉強中

目的

- 滝沢の研究の段階では、デモデータを用いて実行していた。
- 教務課と協力することができれば、実データを取得することができる
ので、実データを用いて実行することができる。
- サクラレビューの判別などのレビュー信頼性、科目の推薦、教材作成
などの精度向上
- +α (なにか新機能を付け足す)

まとめ

5/5

まとめ

- テーマ変更をする.
- それに伴い、プログラムの解読しながら、そこで使われている技術を勉強中.

課題

- 変更にともなって、方向性が変わったので論文のサーベイをしていく.
- また、+αで追加できそうな機能を考えていく.
- flaskはwebアプリケーションを用いるため、そこに必要となるhtmlの知識が必要となるので勉強する.